

平成30年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

旭化成ファーマ株式会社との新規P2X7受容体拮抗薬に関する ライセンス契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、旭化成ファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柴田 豊、以下「旭化成ファーマ」）との間で、当社と旭化成ファーマの共同研究の成果として見いだされた新規P2X7受容体拮抗薬に関するライセンス契約（以下「本契約」）を締結することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 契約締結の理由

当社と旭化成ファーマは、「オープンイノベーションを積極的に推進することによって存在感のある研究開発型スペシャリティファーマ/創薬企業を目指す」という両社の経営理念が一致したことから、平成25年11月に共同研究を開始し、開発候補化合物の創出に取り組んでまいりました。豊富な医薬品研究開発のノウハウを持つ旭化成ファーマと、イオンチャネル創薬の技術に強みを持つラクオリア創薬との協働により、この度、共同研究の成果として、新規神経障害性疼痛治療薬候補としてRQ-00466479を取得することに成功し、平成30年3月に前臨床開発段階に移行することが認定されたことから、本契約の締結に至りました。

2. 契約の内容等

本契約に基づき、当社は旭化成ファーマにP2X7受容体拮抗薬の全世界を対象とした独占的な開発・製造・販売権を供与します。当社は、その対価として契約一時金を受領すると共に、開発段階に応じたマイルストーン、並びに販売後は販売額に応じたロイヤルティを受け取る権利を得ます。なお、具体的な達成条件や金額等につきましては、契約上、非開示とさせていただきます。今後は、旭化成ファーマがRQ-00466479を有効成分とする新規治療薬の開発を前臨床試験より開始します。

当社及び旭化成ファーマは、今回のライセンス契約を通じて、両社ともに重点領域の一つと位置づけている疼痛領域におけるパイプラインのより一層の充実を図ると共に、患者さんに新たな治療の選択肢を提供することで、患者さんのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

3. 契約相手先の概要

(1)名称	旭化成ファーマ株式会社
(2)所在地	東京都千代田区神田神保町1丁目105番地 神保町三井ビルディング
(3)代表者	代表取締役社長 柴田 豊
(4)事業内容	医療用医薬品、診断薬用酵素、診断薬の製造・販売
(5)資本金	30億円
(6)設立年月日	2003年10月1日
(7)大株主及び持株比率	旭化成株式会社(100%)

(8) 上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	本件に関する共同研究契約
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※同社は、旭化成グループの事業会社であり、非公開会社であるため、経営成績及び財務情報を記載していません。

(参考情報：旭化成株式会社)

(1) 名称	旭化成株式会社		
(2) 所在地	東京都千代田区神田神保町1丁目105番地		
(3) 代表者	代表取締役社長 小堀 秀毅		
(4) 事業内容	総合化学事業		
(5) 資本金	1,033億8,900万円		
(6) 設立年月日	1931年5月21日		
(7) 大株主及び持株比率	JP MORGAN CHASE BANK 380055 (7.90%)		
(8) 上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財務状態 (単位：百万円)			
決算期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
連結純資産	1,097,722	1,057,399	1,168,115
連結総資産	2,014,531	2,211,729	2,254,500
1株当たり純資産	775.05円	745.94円	824.36円
連結売上高	1,986,405	1,940,914	1,882,991
連結営業利益	157,933	165,203	159,229
連結経常利益	166,543	161,370	160,633
親会社株主に帰属する当期純利益	105,652	91,754	115,000
1株当たり連結当期純利益	75.62円	65.69円	82.34円
1株当たり配当金	19.0円	20.0円	24.0円

4. 日程

(1) 取締役会決議日	平成30年3月26日
(2) 契約締結日	平成30年3月26日

5. 今後の見通し

本件により当社は契約一時金を受領し、平成30年12月期第1四半期に事業収益として計上いたします。本件による平成30年12月期通期業績に対する影響につきましては、平成30年2月9日に公表した平成30年12月期(平成30年1月1日～平成30年12月31日)の通期連結業績予想に織り込み済みであり、変更はありません

以 上

<ご参考>

【P2X7受容体拮抗薬について】

P2X7受容体は、中枢神経系のグリア細胞に多く発現しているイオンチャネルの一種であり、慢性疼痛の形成や維持過程に深く関与していることが知られています。慢性疼痛の中でも神経障害性疼痛は、既存の鎮痛薬が十分に奏効せず、副作用の問題もあることから、医療ニーズの高い疾患とされています。選択的なP2X7受容体拮抗薬であるRQ-00466479は、既存薬とは異なる作用機序で鎮痛効果を発揮し、難治性の神経障害性疼痛の革新的な新薬になることが期待されます。